

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸とし、地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の身近な金融機関として質の高いサービスを提供し、組合員・利用者の充実したライフプランの実現に向けて、一人ひとりの資産状況、ニーズに寄り添った提案を行うための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「組合員・利用者本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を組合員・利用者が選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

和歌山県農業協同組合

I. 取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動 【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- ・ 組合員・利用者の皆さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、分かりやすさと選びやすさを重視し、組合員・利用者の皆さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。金融商品の選定にあたっては、投資運用会社が組合員・利用者へ良質な金融商品やサービスを提供するため、当該商品の組成や運用を適切に行っており、当組合はその実効性が確保・維持されていることを確認しております。さらに組合員・利用者の皆さまの最善の利益を実現するために、金融商品を購入した組合員・利用者の皆さまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社に提供し、連携を図っております。
- ・ なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、組合員・利用者のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	9
株式型	6	7
REIT型	2	3
バランス型	11	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

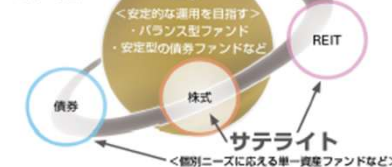
<商品選定の考え方>

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

② コア・サテライト戦略について

保有する資産を「コア(中核)資産」と「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

<イメージ図>



NISA(成長) NISA(成長投資枠) 対象ファンド
NISA(つみたて) NISA(つみたて投資枠) 対象ファンド
為替ヘッジ 為替ヘッジあり
分配 年4回以上の分配
払戻 目標分配率に応じた分配(資金払出し)

シンプル
プロフェッショナル

③ JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、**JAバンクが独自の基準で**長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性 資産形成には、過度に分配金を提出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

投資対象や運用方針の「分かり易さ」をより重視したファンド。インデックス型ファンドや投資銘柄がわかりやすいファンド、資産配分比率が基本的に固定されているファンドなどが該当。
運用会社の「運用力」をより重視したファンド、アクティブ型ファンドなどが該当。

I. 取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 組合員・利用者の皆さまにご提供する共済仕組み・サービスは、くらしや農業を取り巻く様々なリスクに対して、組合員・利用者の皆さまに寄り添った最良・最適な保障をお届けすることを目的とし、組合員・利用者の皆さま一人ひとりのニーズに応じた「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障を提供しています。
- なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）は提供していません。
- 自動車共済では、令和6年6月に、農業者向け保障拡充等の観点からレッカー・ロード費用保障条項の新設、車両諸費用保障特約の保障拡充等を実施し、また、令和7年1月に、道路交通法の改正を踏まえ、「運転者一定年齢限定保障特約」を整備したほか、弁護士費用の情勢に対応するため、「弁護士費用保障特約」の支払限度額の変更を実施しました。
- がん共済では、令和7年4月に、入院期間の短期化や薬物治療・在宅医療の増加等のがん治療の変化に対する保障ニーズにお応えするため、「がん共済」の仕組改訂を実施しました。

I.取組状況

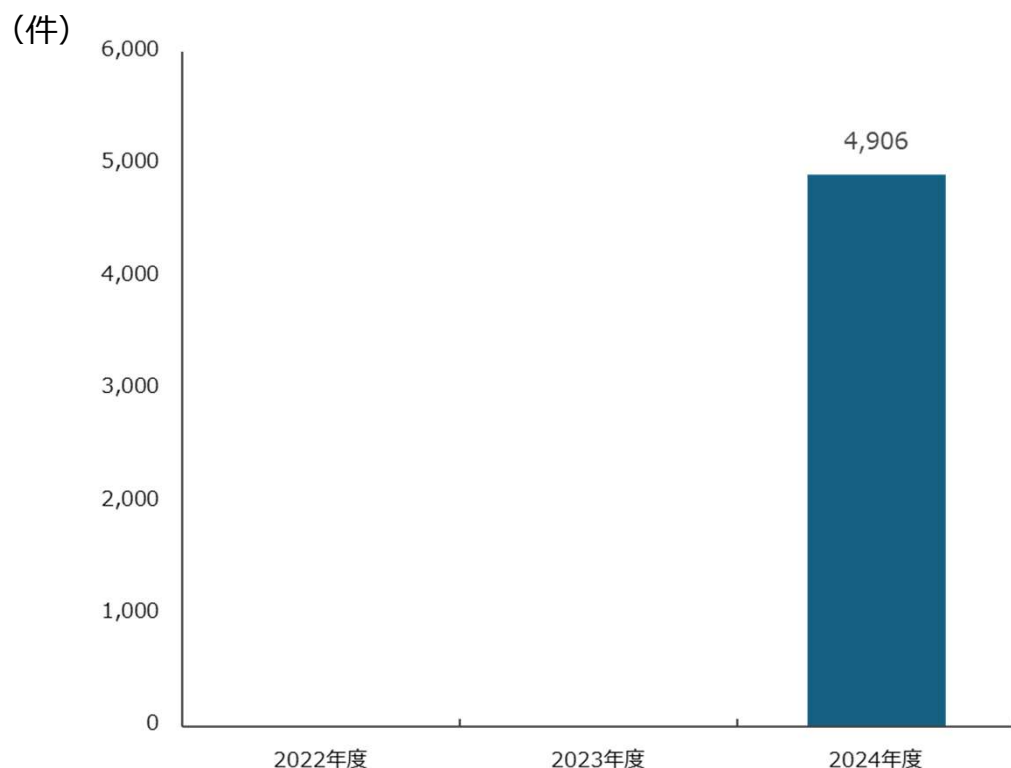
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

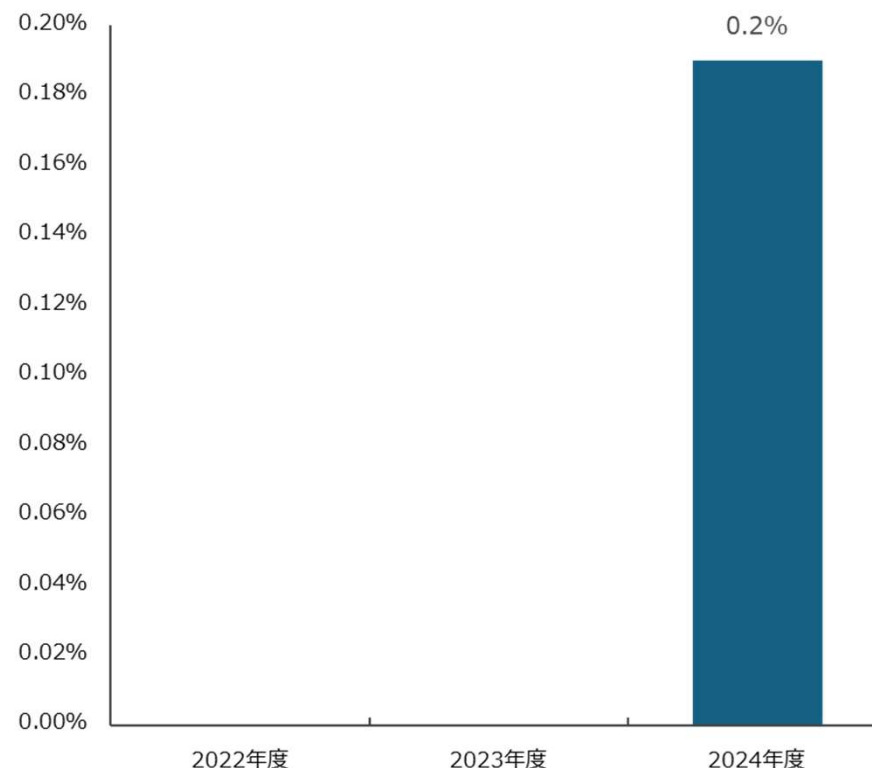
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～5)】

- 組合員・利用者の皆さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、安定的な資産運用・資産形成に貢献できるよう組合員・利用者の皆さまに寄り添ったご提案を行っております。
- 投信つみたて契約件数および購入額に占める毎月分配型ファンドの比率は以下のとおりです。
2025年4月1日合併につき、過去2か年分は合併前の各農協の取組状況をご確認ください。

＜投信つみたて契約件数＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



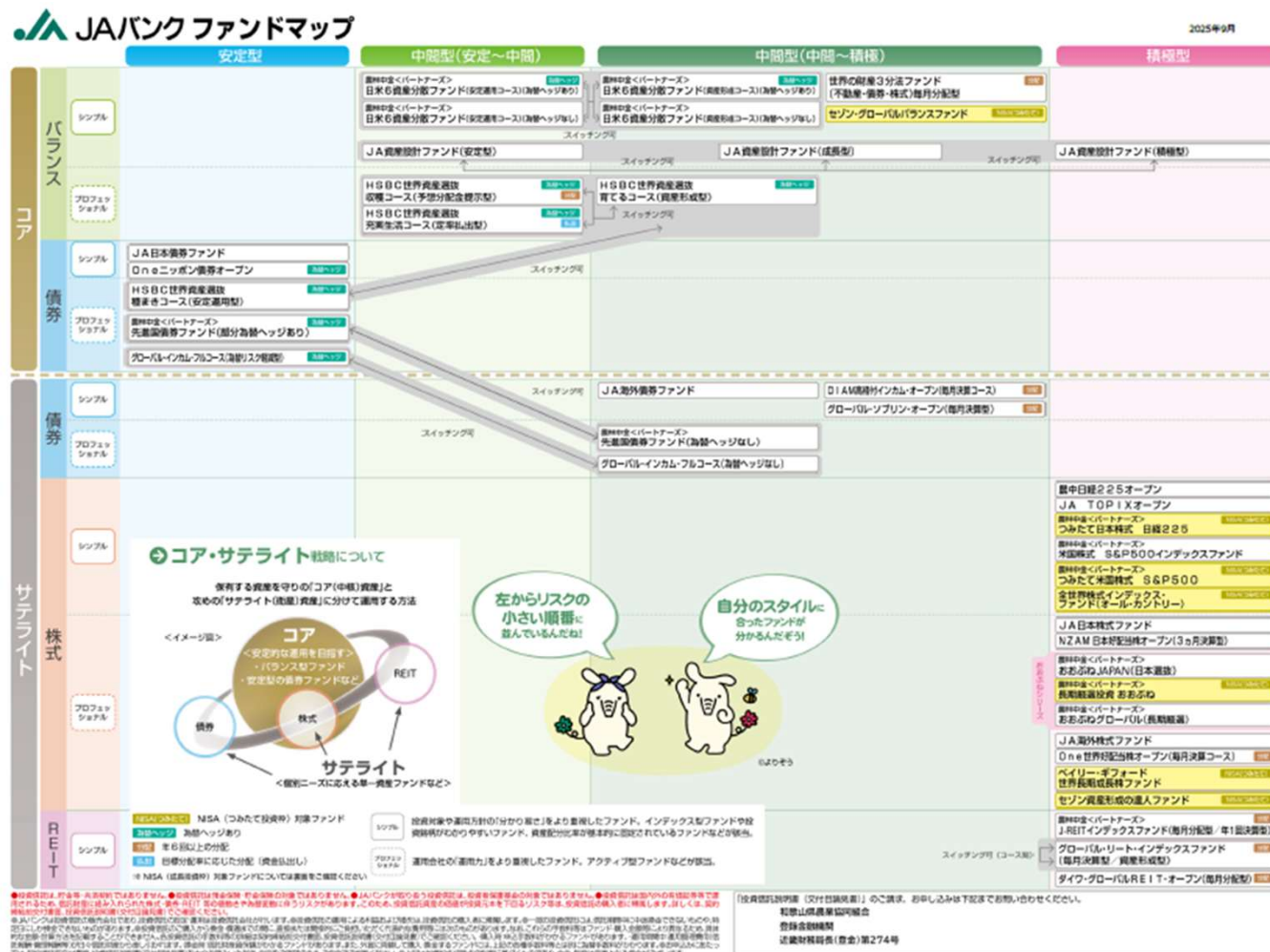
I. 取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～5）】

（1）信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。



I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- 組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿った共済にご加入いただくため、タブレット型端末機「Lablet's（ラブレッツ）」を用いた手続きで、ご意向を把握・確認しながらご提案を実施しています。
- 公的保険制度やライフプランを踏まえた情報提供や保障提案を行い、公的保険制度を踏まえた必要保障額にご加入いただけるよう、「Lablet's（ラブレッツ）」に格納されているライフプランシミュレーターを活用し、公的保険制度を考慮した必要保障額の提示に努めています。
- ご契約に関する重要な事項や不利益な情報についてもご理解いただいたうえでご契約いただくため、重要事項説明書の説明・交付や動画視聴等により、重要な事項等についてご理解いただけるよう努めています。
- ご高齢の組合員・利用者の皆さまにご提案およびご契約の手続きを行う際には、ご親族の方に同席、電話等により確認いただく対応を基本としています。令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めています。
- また、ご加入いただいた後も、「3Q訪問活動」を通じて組合員・利用者の皆さまの近況確認や現在のご契約内容の説明を行っていますが、訪問による対面での3Q訪問活動に加え、電話による3Qコールやオンライン面談など、非対面でも組合員・利用者の皆さまとのつながりを持てるよう努めています。
- なお、保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等のご負担はございません。

I .取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則 3 本文および（注）】

- 組合員・利用者への商品選定や情報提供にあたり、組合員・利用者の利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- J Aバンクでは、営業部門から独立した利益相反統括管理部署をリスク管理部と定め、利益相反のおそれのある取引について、あらかじめ特定・類型化し、利益相反のおそれのある取引を特定する体制を整えています。

I. 取組状況

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

【信用事業】

- ・ J Aバンクでは、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成しています。
- ・ 組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問合せ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善に努めます。

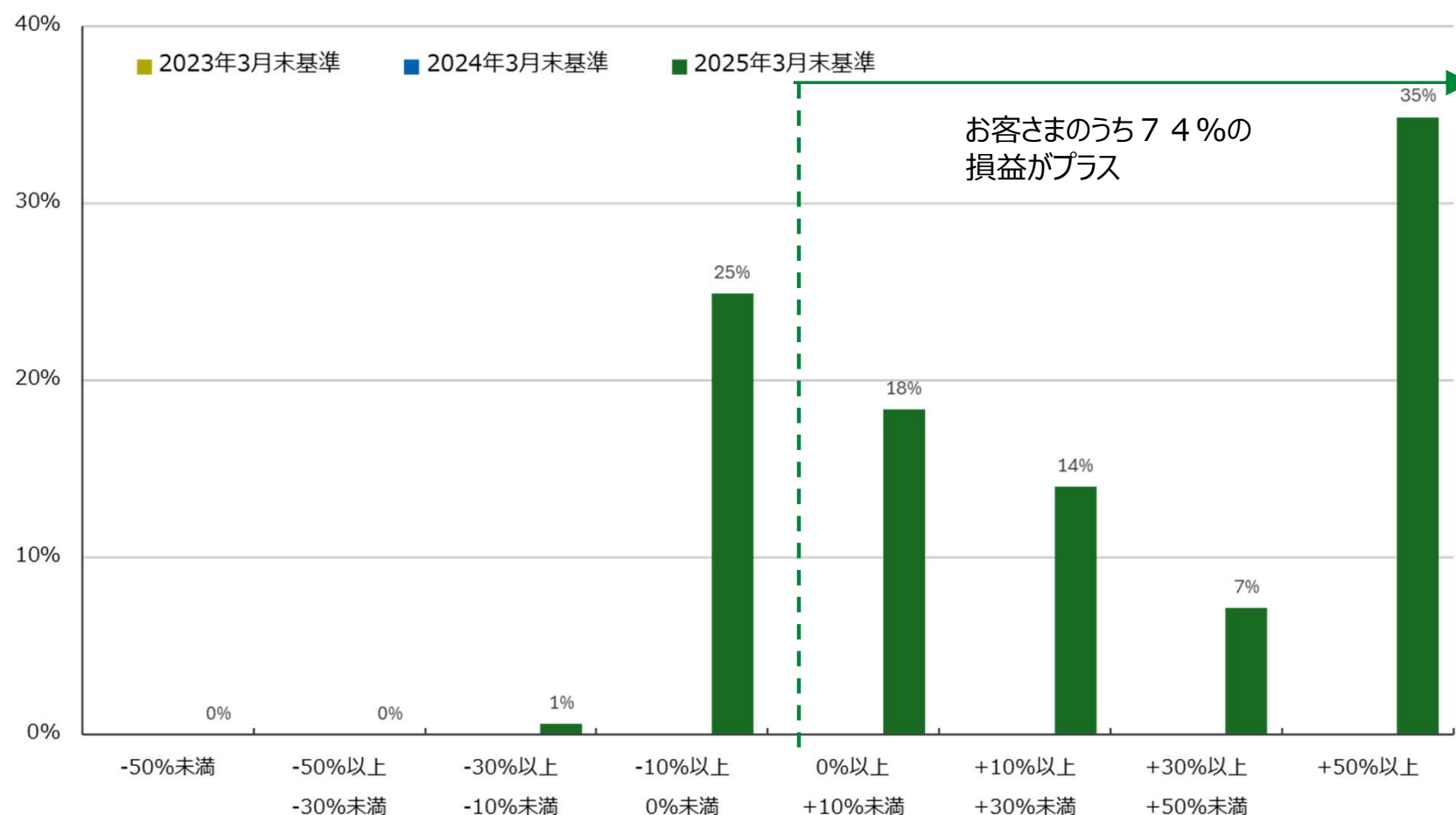
【共済事業】

- ・ 組合員・利用者本位の共済事業推進の強化を図るため、推進活動を行う推進担当者の認証制度である「推進担当者認証制度」により、認証取得のカリキュラムにおける組合員・利用者本位の考え方の習得・実践の強化、役割や経験に応じた推進体制の構築、推進担当者の適切な育成に取り組んでいます。
- ・ 一人ひとりが「組合員・利用者本位の業務運営」を実践し、組合員・利用者の皆さまのライフプランや公的保険を踏まえたご提案を実現するため、研修会受講やトレーナーによるOJT等を通じた人材育成に取り組んでいます。
- ・ また、組合員・利用者の皆さまからいただいた声を集めた「利用者の声通信」が全共連から提供され、J A内で共有することで組合員・利用者本位の意識醸成を図りました。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の74%のお客さまの損益がプラスとなりました。



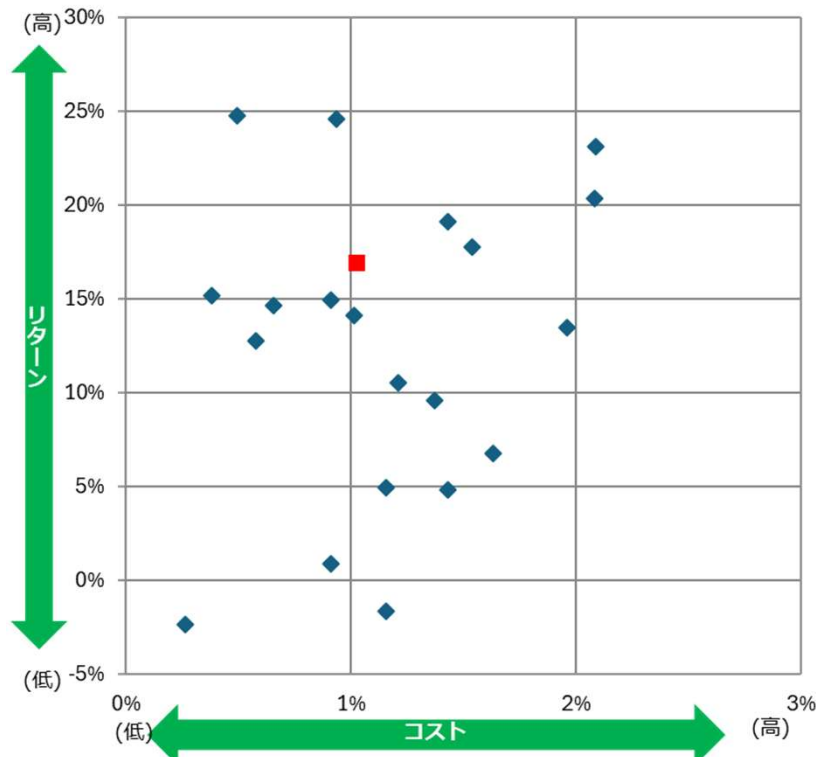
Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

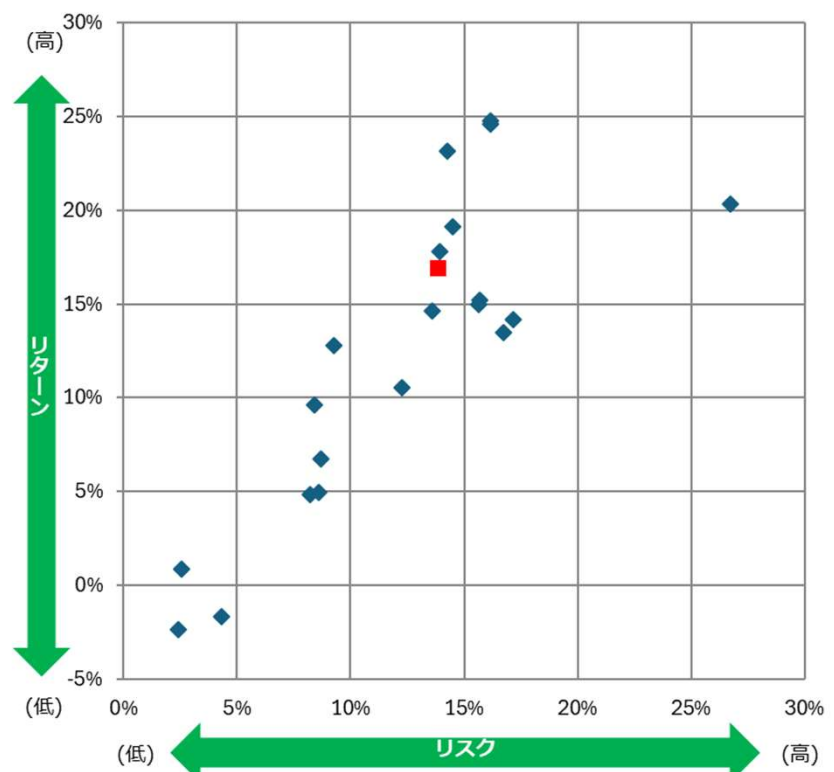
- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.03%、平均リスク13.84%に対して、平均リターンは16.93%でした。

2025年4月1日合併につき、過去2か年分は合併前の各農協の取組状況をご確認ください。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.77%	16.16%	0.50%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.62%	16.15%	0.94%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	19.14%	14.48%	1.43%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	17.77%	13.93%	1.54%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	12.76%	9.29%	0.58%
6	つみたて日本株式 日経 2 2 5	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.19%	15.67%	0.39%
7	農中日経 2 2 5 オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.96%	15.62%	0.91%
8	世界の財産 3 分法ファンド (毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	9.60%	8.39%	1.38%
9	おおぶねグローバル (長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ (株)	14.63%	13.58%	0.66%
10	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	4.84%	8.22%	1.43%
11	日米 6 資産分散ファンド (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	4.93%	8.59%	1.16%
12	ダイワ・グローバル R E I T ・オープン	大和アセットマネジメント (株)	13.46%	16.74%	1.96%
13	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント (株)	20.35%	26.74%	2.08%
14	日米 6 資産分散ファンド (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-1.66%	4.34%	1.16%
15	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ (株)	10.52%	12.27%	1.21%
16	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	0.87%	2.57%	0.91%
17	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-2.36%	2.41%	0.26%
18	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	23.13%	14.24%	2.09%
19	HSBC世界資産選抜 育てるJ-ス (資産形成型)	HSBCアセットマネジメント (株)	6.76%	8.71%	1.63%
20	グローバル・リート・インデックスファンド (資産形成型) 世界のやどかり	大和アセットマネジメント (株)	14.15%	17.14%	1.02%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		16.93%	13.84%	1.03%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

※ 2025年4月1日合併につき、過去2か年分は合併前の各農協の取組状況をご確認ください。